



笑顔とやる気いっぱいの七中 生徒自らが常に鍛え続ける七中

# 七中だより



第10号 中野区立第七中学校 《学校だより》

令和7年1月8日

## 子どもの意見を反映した教育活動 『生き方を考える講演会』

副校長 土屋 太志



12月23日(月)に、サンロッカーズ渋谷のジョシュ・ホーキントン選手(パリ五輪日本代表)と大森康瑛選手(クラブ史上初のユース出身選手)をお招きし、講演会を実施しました。当日は、プロのフリーアナウンサーである戸谷勇人さんがMCを務め、トークショー形式でお二人の熱い思いを掘り下げていただきました。

(副校長土屋の痛恨のパスミスにも関わらず)大森選手の華麗なレイアップシュートとホーキントン選手の豪快なダンクシュートでトークショーがスタート。身長194cmと208cmのアスリートのオーラに圧倒されました。

ホーキントン選手は「最高の自分を目指して情熱をもって進んでいくこと」の大切さを、大森選手は、「仲間大切さ(仲間から自分が経験していないことを学ぶことができる)や努力し続けること」の大切さを伝えてくださいました。ちなみに、大森選手は進学校で有名な

麻布中学・高校の卒業生。(ホーキントン選手もワシントン州立大学で経営学修士を取得している勉強家です。)文武両道を体現する自身の勉強方法も伝授してくださいました。

そして、お二人がともに熱く語ってくれたことは、困った時、悩んだ時には、信頼できる周りの人に相談すること、最後は自分で決断し、責任をもってその決断を正解にできるように努力し続けることの大切さです。

あっという間の夢のような1時間。ワールドカップやパリ五輪で日本を熱くしたホーキントン選手、文武両道でこれからの日本のバスケットボール界を背負う大森選手。お二人の一流のアスリートの言葉が、皆さんが自ら未来を切り開いていく前向きな人生を歩むきっかけとなってくれると嬉しいです。

ホーキントン選手、大森選手、戸谷さん、サンロッカーズ渋谷の皆さん、ありがとうございました。



## 生徒の感想より（抜粋）



- 夢のような企画を実現してくださった方々、ホーキンソン選手、大森選手、ありがとうございました。お二人が入場されたときに、背の高さと顔の小ささ、圧倒的なオーラに魅了され鳥肌が立ちました。
- 周りの人への感謝の気持ちや相談することの大切さを私たちにも分かりやすいように上手に言語化してくださり、一流選手の頭の良さにも触れさせていただきました。
- ホーキンソン選手の「自分の選択に自信をもって、この道を選んで良かったと思えるように努力することが大切だ」という言葉が印象に残りました。私は自分の判断に後悔してしまうことが多いので、ポジティブに捉えられるようにしたいです。
- 豊富な経験に基づくお話、挑戦する姿勢には、多くの刺激と勇気をもらいました。特に、人生における選択についてのアドバイスや、文武両道を実現するための時間の使い方は心に響きました。
- お二人の考え方がとても心に響きました。特に大森選手は19歳とは思えないほど懸命で、こんな風になりたいと心の底から思いました。
- レイアップシュートとダンクの迫力がすごかったよかったです。途中から大森選手がホーキンソン選手の通訳をされていて、本当に文武両道ですごいと思いました。
- 講演会から「自分の決断を信じてベストを尽くすこと」を学びました。高校受験に向けて、自分で志望校を決めた以上「この選択が間違っていなかった」と思えるようにベストを尽くそうと思いました。
- 私はバスケットボールです。心が挫けることがたくさんありました。ですが、今回のお話を聞いて、何度でも立ち上がってやると思うことができました。お二人のおかげです。勇気を与えてくださりありがとうございました。
- 自分は運動が苦手ですが、お二人のお話を通して、バスケにとっても興味をもちました。入場したときのシュートが上手で迫力があり、とても感動しました。
- お二人の体験談やアドバイスは貴重なものばかりで聞くことができとても嬉しかったです。特に大森選手の勉強の仕方や、ホーキンソン選手の「上手」より「楽しさ」を選ぶというお話は心に響きました。この講演をきっかけに自分自身をより成長させていきたいと思います。
- ホーキンソン選手の「最高の自分になって」という言葉にすごく感動しました。お二人の情熱やチャレンジ精神に触れて、私も一層頑張ろうと思えました。
- 今回の講演を聞いて、僕自身も夢へと近づけた気がします。3月の試合、観戦に行くので思い切りいいプレーをしてください。

